

平成28年9月19日～10月2日までの全国の暑さ指数（WBGT）の観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について  
（お知らせ）（平成28年度第19報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5月13日（金）から情報提供を開始しました。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約150地点について、過去1週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行っております。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. この期間（9月19日～10月2日）の全国の暑さ指数の観測状況について

・ 9月19日～9月25日

暑さ指数31℃以上（危険）の時間数（168時間中）

1. 南大東島（沖縄県）	11時間
2. 久米島（沖縄県）	5時間
3. 西表島（沖縄県）	3時間
4. 石垣島（沖縄県）	1時間
4. 宮古島（沖縄県）	1時間

<参考>全国9都市の観測地点（暑さ指数31℃以上）

札幌（北海道）	0時間
仙台（宮城県）	0時間
新潟（新潟県）	0時間
東京（東京都）	0時間
名古屋（愛知県）	0時間
大阪（大阪府）	0時間
広島（広島県）	0時間
福岡（福岡県）	0時間
鹿児島（鹿児島県）	0時間

・ 9月26日～10月2日

暑さ指数31℃以上（危険）の時間数（168時間中）

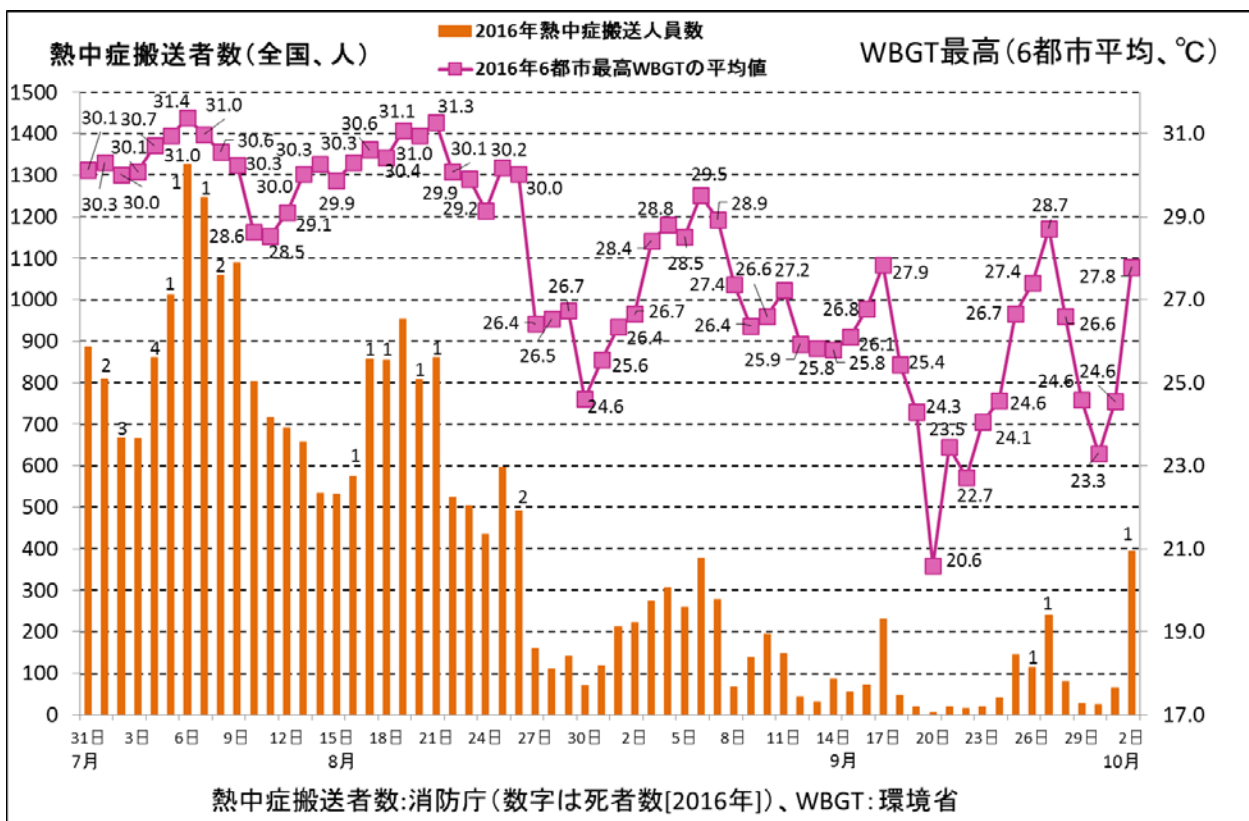
1. 南大東島（沖縄県）	17時間
2. 久米島（沖縄県）	9時間
3. 枕崎（鹿児島県）	4時間
3. 油津（宮崎県）	4時間
5. 名瀬（鹿児島県）	2時間
5. 石垣島（沖縄県）	2時間
5. 宮古島（沖縄県）	2時間
5. 名護（沖縄県）	2時間

<参考>全国9都市の観測地点（暑さ指数31℃以上）

札幌（北海道）	0時間
仙台（宮城県）	0時間
新潟（新潟県）	0時間
東京（東京都）	0時間
名古屋（愛知県）	0時間
大阪（大阪府）	0時間
広島（広島県）	0時間
福岡（福岡県）	0時間
鹿児島（鹿児島県）	0時間

(注1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。  
 (注2) 暑さ指数31℃以上の時間は、九州から沖縄県にかけて、また、同指数28℃以上は関東地方以西の多くの地点で観測されました。なお、暑さ指数31℃以上、28℃以上とは、（公財）日本体育協会の指針において、それぞれ、運動は原則中止レベル、嚴重警戒レベルです。

### 3. 6都市の日最高暑さ指数（WBGT）と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

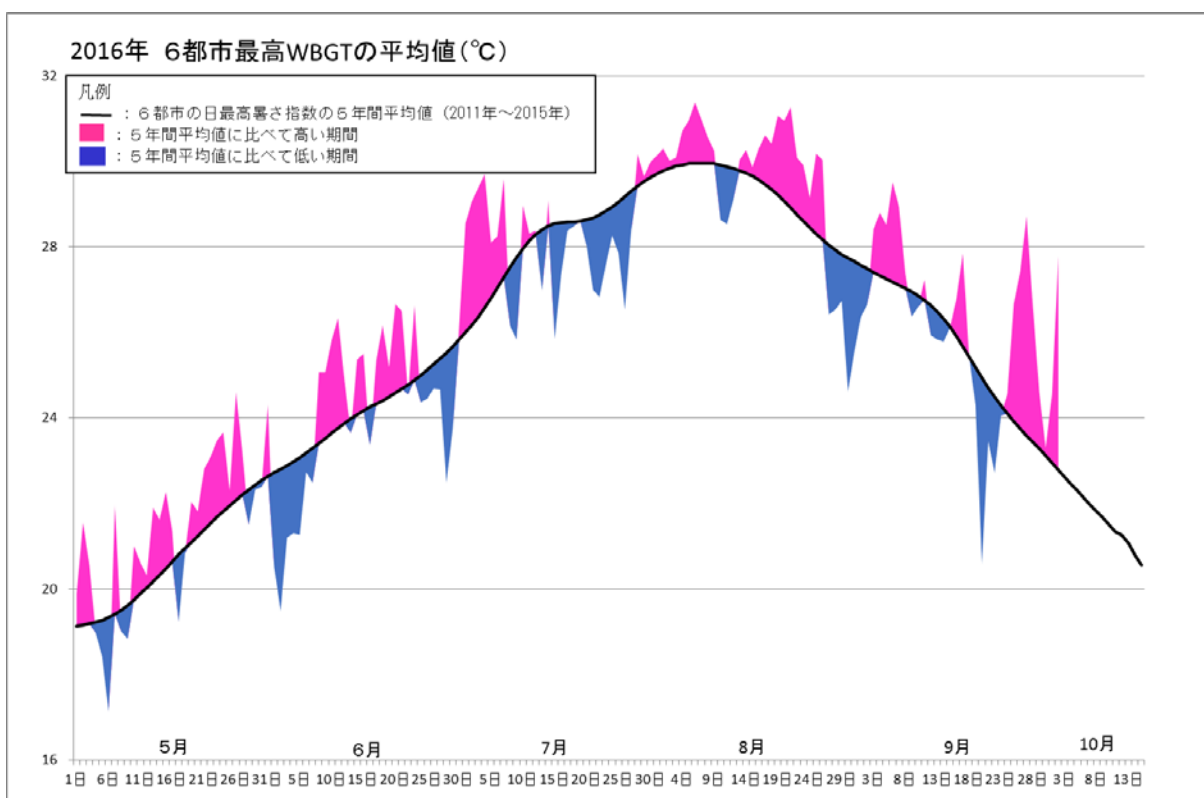


○6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、9月19日以降日、9月27日と10月2日には28℃前後とかなり高くなりました。一方20日は20℃と低く、この期間はかなり変動が大きくなりました。このように、急激に暑さ指数が上昇した25日から27日、10月2日には救急搬送される方が急増しています。7月末以来となりますが、この期間に3人の方が死亡されました。

- 沖縄県を中心に九州の一部で、暑さ指数は熱中症危険度の「危険」を示す 31℃以上となる時間がありました。また、関東や北陸以西では「嚴重警戒」を示す 28℃以上となる日もありました。寒暖の変化が激しくなったことから、暑さ指数が急上昇するような状況では熱中症の危険が高くなります。引き続き、全国的に熱中症に警戒が必要です。
- 気象庁発表（10月5日11時時点）の週間天気予報によれば、「最高気温・最低気温ともに、北日本は平年並か平年より低い見込みです。東・西日本は、期間の前半は平年並か平年より高く、後半は平年並か平年より低いでしょう。沖縄・奄美は、平年並か平年より高い見込みです。」とされ、引き続き寒暖の変化が大きいと見こまれます。暑さが増すときなど環境省熱中症予防情報サイトの暑さ指数の予想の活用など、熱中症への警戒が必要です。
- 徐々に気温が低下する時期なだけに、暑さが戻ると体調に影響しがちです。天気予報などを参考に晴れた日や蒸し暑い日には、無理な作業や運動をせず、こまめな水分補給や休息をとるなど、体調管理に注意してください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。  
6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

#### 4. 2016年の6都市の日最高暑さ指数と過去5年間平均（2011～2015年）との比較 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



6都市平均の日最高暑さ指数（WBGT）は、9月中は一時期、過去5年の平均値より低めの状態でしたが、最近は変動が激しく、高い期間も多くなっています。週間天気予報などを参考に、十分な暑さ対策を心がけてください。